

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制	①	職員の配置数は適切であるか		○		
	業務改善	②	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○	
③		保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		
④		この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
⑤		職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			療育に関する研修を月1回行っている。2ヶ月1回のペースで虐待防止研修、コーチング研修を行っている。
適切な支援の提供	⑥	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		
	⑦	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援が必要な児童、集団活動が必要な児童を分けて行っている。活動も個々で見ている為、強制参加はさせていない。
	⑧	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		記録はきっちりつけている。検証して改善まで至っていないこともある。
	⑨	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリング期間内に新たな個別支援計画書を作りモニタリングができています。
関係機関や保護者との連携	⑩	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○		
	⑪	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			利用者の最善の観点から意見をしています。
	⑫	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		送迎時には学校の先生と話すことはあるが行事予定等のこちらが提供していることの開示ができていない。
	⑬	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	⑭	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
保護者への説明責任等	⑮	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	⑯	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約をする際に行っている。
	⑰	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	⑱	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナにより開催ができていない。
非常時等の対応	⑲	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	㉒	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		社外研修への参加を増やしていきます。
	㉓	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		医師からでなく保護者からの情報で対応している。
	㉔	改善・改良シート(ヒヤリハット)事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			